



2026 年 2 月 20 日

各 位

会社名 杉本商事株式会社  
代表者名 代表取締役社長執行役員 杉本 正行  
(コード番号：9932・東証プライム)  
問合せ先 執行役員管理本部長 中根 潤二  
(TEL：06 - 6538 - 2661)

## 取締役会の実効性評価結果の概要について

当社は取締役会の実効性を高め、より充実したコーポレートガバナンス体制の構築と中長期的な企業価値向上を目指すため、東京証券取引所が定める「コーポレートガバナンス・コード」に基づき、取締役会の実効性に関する評価を実施しましたので、その結果の概要について下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 評価の方法

以下の項目に関して、取締役 5 名及び監査役 3 名全員に外部機関の協力を得て、匿名でアンケートを実施し、その結果について 2026 年 2 月 20 日開催の取締役会で分析・評価を実施いたしました。

- (1) 取締役会の構成について
- (2) 取締役会の運営について
- (3) 取締役会の議題について
- (4) 取締役会を支える体制について
- (5) 取締役会としての株主との対話

#### 2. 外部機関の評価結果（概要）及び今後の対応

評価の結果、当社の取締役会の実効性については、概ね確保されていると評価されました。

当社は、2021 年度以降、外部機関の協力を得て、取締役会の実効性評価を実施してまいりました。評価結果は、当社取締役会の課題を認識し、改善につなげるための方策を議論することに役立ててまいりました。

今期は、選択肢を細分化し、より自身の認識に近い選択肢を選べるように変更を加え、定量的な分析を実施しております。その結果、評価ポイントの下っている設問については、部分的にマイナス面を補完する議論が必要であることを認識いたしました。

当社が認識する主な課題は、以下のとおりであります。

① 取締役会事務局の設置について

前回まで取締役会資料の分量及び事前検討時間について課題があったことから、事務局の設置検討の議論を行っております。事務局の設置には至っていないものの、担当者の設置によって本項目は改善傾向にありました。今後体制を強化すべきか、運営状況をモニタリングしつつ、検討する必要があることを認識いたしました。

② サステナビリティを巡る課題について

本項目は、議論の十分性を確保することについて、継続的な課題として認識しております。サステナビリティを巡る課題については、課題認識に偏りがないように、方針をすりあわせ、決定したうえで、より深い議論を進めていく必要があります。引き続き、提出議案だけによらず、サステナビリティや中期経営計画、資本コスト等、積極的に議論し合う時間を持つことを意識してまいります。

③ 社外取締役との認識のすりあわせについて

アンケートの結果、社内と社外では認識がずれる項目が見受けられました。否定的な意見はありませんが、特に社外取締役が「足りない」と考える項目については、個別に内容を確認し、より密なコミュニケーションを継続していく必要があることを認識いたしました。それぞれが期待される役割の中で、各自が能力を発揮しつつ、より高い実効性を維持できるように尽力してまいります。

当社は今後も、持続的な成長と中長期的な企業価値向上のために、今回の評価結果及び課題への対応を踏まえて、取締役会の実効性の向上を図ってまいります。

以 上